

# 1997年度 言語文化研究所事業一覧

## I. 研究部事業

### ① 研究員による基礎研究

山崎 裕子（国際学部助教授）

研究題目 中世ヨーロッパにおけるキリスト教文化

亀田 裕見（文学部講師）

研究題目 現代日本語方言における特殊音調の世代間の  
受け継ぎ

### ② 客員研究員による共同研究

趙 秋 茹（西安外国語学院）

研究題目 中国人学習者の初・中級文型の定着と応用

金 光 林（韓国詩人協会会員）

研究題目 日韓現代詩の研究

### ③ 紀要発行

1998年2月28日 「言語と文化」10号

## II. 研修部事業

### ① 実用語学講座【英語・中国語・スペイン語・外国人のための日本語】

1997年5月13日（火）～7月18日（金） 春期講座

10月3日（金）～12月16日（火） 秋期講座

1998年1月13日（火）～3月20日（金） 冬期講座

### ② 夏期公開講座

1997年7月25日（金）・26日（土） 英語講座

7月25日（金）・26日（土） 書写・書道教育講座

③異文化体験講演会

1997年11月27日（木）「私の見た中国」

文学部助教授 加納 陸人

12月4日（木）「韓国の詩心を語る」

言語文化研究所客員研究員 金 光 林

### ①実用語学講座

本研究所で本学内における言語教育の振興と普及に関する各種会合の開催の趣旨に基づいて、また本学が地域に開く生涯教育・社会教育として下記のとおり語学講座を開設致しました。

期 間：春期 平成9年5月13日(火)～7月18日(金)

秋期 平成9年10月3日(金)～12月16日(火)

冬期 平成10年1月13日(火)～3月20日(金)

毎週火・金曜日の各期20回コース

開設講座：英語講座(初級・中級)      スペイン語講座(初級)

中国語講座(初級・中級)      外国人のための日本語講座

| 講 座                  | 春期講座受講者                   | 秋期講座受講者                   | 冬期講座受講者                   |
|----------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 英 語                  | 86名<br>(初級49名)<br>(中級37名) | 54名<br>(初級31名)<br>(中級23名) | 29名<br>(初級19名)<br>(中級10名) |
| 中国語                  | 38名<br>(初級29名)<br>(中級9名)  | 27名<br>(初級14名)<br>(中級13名) | 21名<br>(初級13名)<br>(中級8名)  |
| スペイン語                | 13名<br>(初級13名)            | 7名<br>(初級7名)              | 8名<br>(初級8名)              |
| 外国人<br>のための<br>日 本 語 | 47名<br>(本学生23名)           | 60名<br>(本学生14名)           | 44名<br>(本学生13名)           |

## ②夏期公開講座

### (1)英語夏期講座

対 象：中学校／高等学校英語科教員又は教員志望者並びに埼玉  
県内在住及び県内に勤務する一般成人

目 的：英語教育、英語学、並びに英米文学についての理解を  
深める。

期 日：1997年7月25日(金)、26日(土)

会 場：文教大学越谷校舎

参加者数：67名

| 月日                       | 時限 | テ　　マ                 | 講　師　名          | 会　場 |
|--------------------------|----|----------------------|----------------|-----|
| 7<br>月<br>25<br>日<br>(金) | 1  | 「helpの助動詞化－進行中の統語変化」 | 宇賀治正朋          | 3号館 |
|                          | 2  | 「英語の起源」              | 岸田 直子          | 3号館 |
|                          | 3  | 「語彙の話」               | 土屋 澄男          | 3号館 |
| 7<br>月<br>26<br>日<br>(土) | 1  | 「文型・文法の指導」           | 広野 威志          | 3号館 |
|                          | 2  | 「授業研究」               | 青木 香           | 3号館 |
|                          | 3  |                      | 藤井 昌子<br>秋山 朝康 |     |

## (2)書写・書道教育夏期講座

対 象：小学校／中学校国語科及び書写担当教員並びに埼玉県内在  
住及び県内に勤務する一般成人

目 的：書写書道教育についての理解を深め、書写技能を高める。

期 日：1997年7月25日(金)、26日(土)

会 場：文教大学越谷校舎

参加者：22名

| 月日                       | 時限 | テ　　マ   | 講　師　名 | 会　場 |
|--------------------------|----|--------|-------|-----|
| 7<br>月<br>25<br>日<br>(金) | 1  | 「楷書」   | 米本 美雪 | 4号館 |
|                          | 2  | 「行書」   | 松田 久枝 | 4号館 |
|                          | 3  | 「仮名」   | 林 信次郎 | 4号館 |
| 7<br>月<br>26<br>日<br>(土) | 1  | 「硬筆」   | 磯野 浩之 | 4号館 |
|                          | 2  | 「作品制作」 | 吉沢 義和 | 4号館 |

## ③異文化体験講演会

第1回……………11月27日(木)

「私の見た中国」－日本語教育の現場から－  
加納 陸人（文学部助教授）

参加者数：50名

第2回……………12月4日(木)

「韓国の詩心を語る」－私の日本詩歌体験を中心に－  
金光 林（言語文化研究所客員研究員）

参加者数：52名

97年度に実施したものと、まだ継続中の事業をあげてみる。①実用語学講座（春・秋・冬）をやる。冬の講座は現在まだ実施中で3月中旬すぎまで続く。冬学期になると毎年繰返されていることであったが、受講者の減少が今年度も見られた。教室の立地条件にその大きな原因があることが想像されるのであるが、現実的に教室の移動は大学の行事日程等から見ると困難な状況にある。相変わらず課題として残ってしまった。②夏期公開講座は7月25日(金)・26日(土)に開催した。英語と書写書道の教室を開き、前者は67名、後者は20名の参加者があった。この講座は時季的な良さもあり毎年多数の出席者がある。特に英語の場合は現職の中学・高校の先生方に好評を博していた。③異文化体験講演会も今年度で4回目となる。大学祭の後の年中行事として定着した感がある。11月27日(木)加納陸人(文学部助教授)氏と12月4日(木)金光林氏(言文研客員研究員)の両先生にやっていただいた。両講演とも50名をこえる出席者があり、盛り上がりを見せた。加納先生はスライドを使って中国の日本語教育の実情報告をされた。日本語教員を希望する学生に大いに参考になった。詩人の金先生は実作だけでなく韓国と日本の古い詩歌に造詣が深く聴衆をしばし詩歌の世界に誘いこむ。今年度もroutine workに終始してしまっただが、限られた予算の中での事業展開であったのでやむを得ないことであろう。